

皆生養護学校 進路指導計画

○幼稚部・小学部（低学年）

進路の探索および選択に向けた基盤形成の時期

- | | |
|----------------------|-------------------|
| ①基本的生活習慣の形成 | ②コミュニケーション能力の形成 |
| ③自己や他者への積極的関心の形成 | ④身のまわりの仕事への関心の形成 |
| ⑤将来の夢やなりたい自分のイメージの形成 | ⑥目標に向かって努力する態度の形成 |

目標	身につけさせたい能力・態度
①	・自分の身のまわりのことは自分で行おうとする ・落ち着いた学校生活を送ろうとする ・時間を守ろうとする ・基本的な生活ルールを守ろうとする ・体調の変化を伝えようとする ・生活リズムを意識した生活を送ろうとする
②	・快、不快を表現できる ・あいさつや返事が自分なりの方法でできる ・「ありがとう」、「ごめんなさい」を言う、または自分なりの方法で伝える ・自分の意見や気持ちをわかりやすく表現しようとする ・A A Cの使い方を理解する ・身近な人に介助の依頼をしようとする ・学校や自宅周辺の人たちと関わりをもとうとする
③	・自分の好きなことや嫌いなことを言う、または自分なりの方法で伝える ・自分の良いところを見つける ・友だちと仲良くする ・手伝ってもらう等、お世話になった人に感謝の気持ちをもつ ・身近な人からの介助を受け入れようとする ・身近な人からの呼びかけ等のはたらきかけに反応する
④	・身近で働く人たちの仕事を見学したり、体験したりして様子が分かる ・体験を通して、身近で働く人たちの仕事に興味や関心を持つ ・いろいろな職業や生き方がることが分かる ・興味のある仕事について自分で調べたり、教師に質問したりする ・学校で係や当番の仕事に取り組み、それらの大切さが分かる ・家庭での手伝いや役割の大切さが分かる
⑤	・自分の好きなものや大切なものをもつ ・していいこととしてはいけないことが分かる ・体験を通して、自分の将来の夢や希望をもつ
⑥	・学習の準備や片付けをする ・決められた時間やきまりを守ろうとする ・必要に応じて我慢ができる ・自分がすべきことは自分でやろうとする

○小学部（中・高学年）

進路の探索および選択に向けた基盤形成の時期

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| ①基本的生活習慣の形成・定着 | ②コミュニケーション能力の形成・向上 |
| ③自己や他者への積極的関心の形成・発展 | ④身のまわりの仕事や環境への関心の形成・発展 |
| ⑤将来の夢や目標とする自己イメージの形成・発展 | ⑥勤労意欲や目標に向かって努力する態度の形成・向上 |

目標	身につけさせたい能力・態度
①	・自分の身のまわりのことは自分で行う ・落ち着いた学校生活を送る ・時間を守る ・基本的な生活ルールを守る ・体調の変化を伝える ・生活リズムを確立させる
②	・快、不快を表現できる ・あいさつ、返事、同意不同意の意思表示ができる ・お礼や謝罪を伝える ・自分の意見や気持ちを伝える ・思いやりをもち、相手の立場に立って行動しようとする ・場に応じた言葉遣いをしようとする ・異年齢集団の活動に進んで参加し、役割と責任を果たそうとする ・他者からの意見や意思を的確に把握するために、自分に合った方法を見つける ・AACを活用できる ・身近な人に介助の依頼ができる ・関わりの少ない人に介助の依頼をしようとする ・学校や自宅周辺の人たちと関わりをもつ
③	・自分の長所や短所に気づき、自分らしさを発揮する ・友達の良いところを認める ・話し合いに積極的に参加し、自分と異なる意見も理解しようとする ・自分の障がいについて知る ・教師や保護者に自分の悩みを話す ・身近な人からの介助を受け入れる ・関わりの少ない人からの介助を受け入れようとする ・身近な人だけではなく、関わりの少ない人からの呼びかけ等のはたらきかけにも反応する
④	・施設や職場見学等をおこない、働くことの大切さや大変さが分かる ・身近な産業や職業の様子が分かる ・興味のある仕事について自分で調べたり、実際に職場を訪れて質問したりする ・係や当番の仕事に積極的にかかわる ・社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さが分かる
⑤	・自分のやりたいこと、よいと思えることをもち、積極的に取り組む ・してはいけないことを理解し、自制する ・具体的な将来の夢や希望、憧れとする職業をもち、今しなければいけないことを考える ・学習や体験活動を通して学んだことと、将来の生き方の関係に気付く ・将来のことを考える大切さが分かり、進路計画をつくる必要性に気付く ・学校の係活動等で、自分のやりたいことや出来ることを踏まえて自己選択できる
⑥	・体験的な活動を通して、働くことの楽しさが分かる ・自分の仕事に対して責任を感じ、最後までやり遂げようとする ・体験的な活動から自分の課題を見つけ、自分の力で解決しようとする ・将来の夢や希望をもち、現実を目指して努力しようとする

○中学部

進路探索と暫定的進路選択の時期

- | | |
|-------------------|----------------------|
| ①基本的生活習慣の定着 | ②コミュニケーション能力の定着および発展 |
| ③肯定的自己理解と自己肯定感の形成 | ④興味や関心に基づく職業観や勤労観の形成 |
| ⑤進路計画の立案および暫定的選択 | ⑥生き方や進路に関する探索 |

目標	身につけさせたい能力・態度
①	・身のまわりのことを自分で行う ・生活スキル（炊事、洗濯、掃除等）を身につける ・時間や期限を守る ・集団生活の自分の役割を理解し、それを果たそうとする ・集団生活のルールを守る ・日常の生活や学校での学習と将来の自分の生き方の関係を理解する ・体調管理をする ・生活リズムを確立し、自分で管理する
②	・快、不快を表現できる ・あいさつ、返事、同意不同意の意思表示をしっかりとできる ・お礼や謝罪の気持ちを素直に伝える ・自分の意見や気持ちをわかりやすく伝える ・新しい環境や人間関係に適応する ・場に応じた言葉遣いができる ・人間関係の大切さを理解し、基本的な対人スキルを身につける ・異年齢集団の活動に進んで参加し、他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする ・他者からの意見や意思を的確に把握するために、自分に合った方法を見つけ、それを活用しようとする ・自分に適したAACを見つけ活用する ・身近な人だけではなく、関わりの少ない人にも介助の依頼ができる ・身近な人だけではなく、関わりの少ない人からの介助も受け入れる ・身近な人だけではなく、関わりの少ない人からの呼びかけ等のはたらきかけにも反応する
③	・自分の悩みを相談できる人をつくる ・自分の良さや個性が分かり、他者の良さや感情を理解し、尊重できる ・自分の障がいを知り、その特性を理解する
④	・進路指導旬間等の体験活動を通して、勤労の意義やいろいろな職種で働く人たちの思いが分かる ・興味関心のある仕事について、その職に就くために必要な情報を収集する ・産業や経済の変化に伴う仕事や職業の変化のあらましを理解する
⑤	・進路指導旬間等の体験活動を通して、将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への意欲関心を高める ・進路計画を立てる意義や方法を理解し、自分の目指したい将来を暫定的に計画する ・将来の進路希望に基づいて短期目標を立て、その達成に向けて努力をする ・学校や保護者と相談しながら、卒業後の進路を選択し、それを受け入れる ・将来の生活に必要な知識（年金、ひとり暮らし、金銭管理等）について概要を理解する
⑥	・体験的な活動から自分の課題を見つけ、よりよい進路や生き方を目指して日々の学習に取り組む ・生き方や進路に関する情報を、いろいろな手段を用いて調査、収集、整理し活用する ・いろいろな職業の社会的役割や意義を理解し、自分の生き方を考える ・進路指導旬間等を通して、施設での体験活動を行い、雰囲気を知る ・自分の個性や興味関心に基づき、進路や生き方に関して自己決定しようとする ・選択や判断には、その過程や結果に責任が伴うことを理解する ・地域の人たちとのかかわりを深め、よりよい関係を築こうとする。

○高等部

進路決定に向けた現実的探索と社会的移行準備の時期

- | | |
|----------------------|---------------------|
| ①社会的生活習慣の確立 | ②コミュニケーション能力の発展 |
| ③自己理解の深化および自己受容の確立 | ④職業観や勤労観の確立 |
| ⑤将来設計の立案および社会的移行への準備 | ⑥進路の現実的探索と社会への試行的参加 |

目標	身につけさせたい能力・態度
①	・身のまわりのことを自分で行う ・卒業後に必要な生活スキルや知識を身につける ・時間や期限を守る ・集団生活のルールを守り、自分の役割を果たす ・社会規範やマナーに加え、ビジネスマナーの必要性や意義を理解し、習得する ・自分の就労に必要なスキルや資格等を調べ、習得する
②	・快、不快を表現できる ・あいさつ、返事、同意不同意の意思表示を明確にできる ・新しい環境や人間関係に適応し、さまざまな場面でそれを生かす ・場に応じた適切な言葉遣いができる ・異年齢、異性等、多様な他者と、場に応じた適切なコミュニケーションを図る ・自分の意見や思いを適切に伝え、他者の意見や意思を的確に理解する ・自分に適したAACを活用し、場に応じて使い分けができる ・他者からの意見や意思を的確に把握するために、自分に合った方法を見つけ、有効に活用できる ・必要に応じて、身近な人だけではなく、関わりの少ない人にも介助の依頼ができる ・身近な人だけではなく、関わりの少ない人からの介助も受け入れる ・身近な人だけではなく、関わりの少ない人からの呼びかけ等のはたらきかけにも反応する
③	・お互いを理解し、支えあえる友達を得る ・他者の価値観や個性を理解し、それを受け入れる ・自分の障がいを知り、その特性を理解し、それを受け入れる ・自分の職業的な能力や適性を理解し、それを受け入れ伸ばそうとする
④	・多様な職業観や勤労観を理解し、職業や勤労に対する理解、認識を深める ・現場実習等の体験的な活動を通して、進路選択の基準となる自分なりの価値観や職業観、勤労観をもつ
⑤	・卒業後の進路や職業、産業の動向について多角的に情報収集をする ・現場実習等の体験的な活動を通して、生きがいややりがいがあり、自分を生かせる生き方や進路を現実的に考える ・生き方や職業について総合的、現実的な理解に基づいて将来を設計し、進路計画を立案する ・将来設計、進路計画の実現を目指して、課題を設定し、その解決に主体的に取り組む ・将来設計、進路計画の見直しや再検討を行い、その実現に主体的に取り組む ・就業生活における権利や義務、責任および就職に必要な手続き等が分かる ・卒業後の日常生活（ひとり暮らし、金銭管理、自動車免許等）に必要な手続き等が分かる ・年金や手当等の制度の概要が分かる
⑥	・現場実習等の体験的を通して、施設での探索的、試行的な体験に取り組む ・進路希望や将来の生き方の実現に必要な諸条件や課題を理解し、実現の可能性について考える ・現場実習や職場見学、上級学校の見学やオープンスクールへの参加、アルバイト等で、社会参加に向けた探索的、試行的な体験に取り組む ・多様な選択肢の中から、自分の意思と責任で進路や学習を主体的に決定する ・自分の選択結果を受け入れ、決定に伴う責任を果たす ・地域の人たちとのかかわりを深め、よりよい関係を築く